

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600731
事業所名	グループホームあすなる

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域との取り組みが活発に行われており、信頼関係も構築されている。年に1度の地域清掃には利用者が参加し、終了時には町内会から“ご褒美”のペットボトル（お茶）が利用者一人ひとりに配られる。保育園、小学校との交流に続き、地域の障害者施設とも交流が始まった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、家族、いきいき支援センター（地域包括支援センター）職員、民生委員等が集まり、2ヶ月に1度の運営推進会議を開いている。今年度から、ホーム内で開催された「身体拘束委員会」の討議内容を運営推進会議で報告している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議の行政枠でいきいき支援センター（地域包括支援センター）の職員が参加して、市とのパイプ役を果たしている。生活保護の受給者が7名入居しており、区の保護係とも連携している。区役所が近く、担当者がホームに来て利用希望者の情報を伝えてくれる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 法人が行った家族満足度のアンケート調査で、利用者の衣服の入れ替え（季節の更衣）のトラブルが指摘された。すぐに改善策を講じ、これを機に接遇や言葉遣いの勉強会を行った。毎月ホームだよりを家族に届けており、利用者個々にその時々スナップ写真を同封している。家族には大好評である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	